



男女共同参画に関する住民アンケート



〈調査の趣旨とご協力のお願ひ〉

町民の皆さまには、日ごろから町政にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

本町では、平成28年3月に「第2次東浦町男女共同参画プラン中間見直し版」を策定し、男女が対等なパートナーとして、地域・家庭・職場・学校等のあらゆる分野において、ともに認め合い、思いやりとやさしさを持って、責任と喜びを分かち合うことのできる「男女共同参画社会」の実現に向けた取り組みを進めています。

この調査は、第2次東浦町男女共同参画プラン中間見直し版の策定から5年を迎え、本プランに掲げた目標の達成状況の確認や、今後の施策の見直しにあたって、町民の皆さまのお考えをお聞きするため、町内に在住する18歳以上の男女の方から1,500人を無作為に選ばせていただき、実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年 7月 東浦町

調査票記入にあたってのお願い

- 記入にあたっては、あて名のご本人がお答えください。
- このアンケート調査は無記名回答方式ですので、名前を記入する必要はありません。また、調査結果は統計的に処理し、個人に関わる情報を公表することはありませんので、ご迷惑をおかけすることは決してありません。ありのままを回答していただくようお願いいたします。
- ボールペンまたは鉛筆等ではっきり記入してください。
- 質問ごとに当てはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。○をつける数は、質問の指示に従ってください。
- 回答していただく方が限られる質問もありますので、質問の前の指示にしたがってお答えください。指示のない質問については全員がお答えください。
- 回答が「その他」に当てはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- 答えたくない質問については、とばして回答してもかまいません。

記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**8月16日(金)**までにポストに投函してください。その際、封筒への記名や切手を貼る必要はありません。

- 不明な点や調査についてのお問い合わせ

東浦町役場企画政策部協働推進課

TEL : 0562-83-3111

FAX : 0562-83-9756

E-mail : kyoudou@town.aichi-higashiura.lg.jp

「男女共同参画」の意識、家庭、地域活動について

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つを選んでください。

1. 賛成である → 問2へ
2. どちらかといえば賛成である → 問2へ
3. どちらかといえば反対である → 問3へ
4. 反対である → 問3へ
5. わからない

問2 問1で「1.賛成である」「2.どちらかといえば賛成である」と答えた方にお聞きします。それは、なぜですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 日本の伝統的な家族のあり方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長等にとってよいと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
6. 特にないが何となく
7. その他（具体的に： _____)

問3 問1で「3.どちらかといえば反対である」「4.反対である」と答えた方にお聞きします。それは、なぜですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとってよいと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
7. 特にないが何となく
8. その他（具体的に： _____)



問4 社会や生活の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。(1)～(8)の項目について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。

項目	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
(1) 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
(2) 地域活動では	1	2	3	4	5	6
(3) 習慣・しきたりでは	1	2	3	4	5	6
(4) 学校教育では	1	2	3	4	5	6
(5) 職場では	1	2	3	4	5	6
(6) 政治や行政では	1	2	3	4	5	6
(7) 法律や制度では	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問5 あなたは、次にあげる家事は、誰が分担するのが望ましいと思いますか。(1)～(9)の項目について、あなたの希望に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。

項目	夫が中心	妻が中心	家族で分担	人その他の	わからない
(1) 日常の家計管理	1	2	3	4	5
(2) 食事づくり	1	2	3	4	5
(3) 食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5
(4) 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5
(5) 洗濯	1	2	3	4	5
(6) 掃除	1	2	3	4	5
(7) ゴミだし	1	2	3	4	5
(8) 子どものしつけや家庭教育	1	2	3	4	5
(9) 家族の介護	1	2	3	4	5

問6 あなたの家庭では、日常の家事の分担を実際にはどのようにされていますか。(1)～(9)の項目について、それぞれ1つ選んでください。

項 目	夫が中心	妻が中心	家族で分担	その他のひと	わからない・該当しない(一人暮らしなど)
(1) 日常の家計管理	1	2	3	4	5
(2) 食事づくり	1	2	3	4	5
(3) 食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5
(4) 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5
(5) 洗濯	1	2	3	4	5
(6) 掃除	1	2	3	4	5
(7) ゴミだし	1	2	3	4	5
(8) 子どものしつけや家庭教育	1	2	3	4	5
(9) 家族の介護	1	2	3	4	5

問7 あなたが家事、育児、介護に携わる時間は、1日あたりどれくらいですか。それぞれ1つ選んでください。

項 目	全くかかわっていない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間以上
(1) 平日	1	2	3	4	5	6
(2) 休日	1	2	3	4	5	6



問8 あなたは、生活の中で、「仕事」、「家庭生活（家事・子育て・介護等）」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」のうち何を優先しますか。「希望」「現実」それぞれについて、次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

項 目	希望	現実
1. 「仕事」を優先する		
2. 「家庭生活」を優先する		
3. 「地域・個人の生活」を優先する		
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先する		
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先する		
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する		
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する		
8. わからない		

問9 あなたは、次のような地域活動に参加していますか。また、今後参加したいと思う地域活動はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

項 目	現在	今後
1. 自治会やコミュニティの活動		
2. 子ども会やPTA等の青少年育成活動		
3. 女性の会や地域女性団体（又は男性の会や地域男性団体）		
4. NPOやボランティア団体等民間の非営利活動団体		
5. 老人クラブや高齢者の会等の福祉団体		
6. 教養・趣味・スポーツのサークル		
7. その他（具体的に)		

8. 参加していない・参加したくない → 問10へ		
---------------------------	--	--

問 10 問9で「8. 参加していない・参加したくない」と回答した方にお聞きします。
活動に参加していない、参加したくない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 仕事が忙しい
2. 家事・育児・介護などで忙しい
3. 自分の健康上の理由から
4. 地域活動に興味がない
5. 団体内の人間関係がわずらわしそう
6. 家族の理解が得られない
7. どんな地域活動があるかわからない
8. 参加したい地域活動がない
9. 自分の性格に合わない
10. 経済的に余裕がない
11. その他（具体的に： _____)

問 11 あなたは、男性の家事、育児、介護、地域活動への参加をすすめるためには、どのようにしていけばよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 男性による家事、子育て、介護、地域活動に対する抵抗感をなくす
2. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る
3. 夫婦の役割分担などについての当事者の考え方をまわりが尊重する
4. 男性による家事、子育て、介護、地域活動への社会的評価を高める
5. 働き方の見直しを行い、仕事以外の時間をより多くもてるようにする
6. 男性の仕事中心の生き方、女性の男性に経済力や出世を求める考え方を改める
7. 家事、育児、介護講座や情報提供、ネットワークづくりなどの支援を行う
8. 子どもの頃から、男女の区別なく家庭生活や地域活動を行う必要性を教える
9. その他（具体的に： _____)



仕事について

問 12 一般に女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
5. 子どもができたなら仕事を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. その他 ()
7. わからない

問 13 あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、またはしたいことは何ですか。次の中から最もあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 専門知識を生かせる
2. 性格・能力が適している
3. 仕事にやりがいがある
4. 能力本位で実績が評価される
5. 業種に将来性がある
6. 給与の条件がよい
7. 勤務時間・勤務場所の条件がよい
8. 職場の雰囲気がよい
9. 育児や介護への理解や制度が整っている
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問 14 就業している方（収入をとまなう仕事をしている方）にお聞きします。

あなたが働いている理由は何ですか。次の中からあなたの考えに最も近いものを3つまで選んでください。

1. 生計を維持・補助するため
2. 経済的に自立したいため
3. 家業だから
4. 社会や他人とのつながりを持ちたいから
5. 自分の能力や資格を生かしたいから
6. 時間に余裕があるから
7. 老後資金や結婚資金等、将来に備えるため
8. 子どもの教育費のため
9. 住宅ローンや奨学金等借金返済のため
10. “働くこと”は当たり前だから
11. その他（)

問 15 就業していない方（収入をとまなう仕事をしていない方）にお聞きします。

今後、就業したいと思えますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

1. はい → 問 16 へ
2. いいえ → 問 17 へ

問 16 問 15で「1.はい」と答えた方にお聞きします。

どのような働き方を希望しますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

1. 正規の社員・職員でフルタイム勤務
2. 正規の社員・職員で短時間勤務
3. パート・アルバイト
4. 派遣・嘱託・契約・非常勤等の従業員でフルタイム勤務
5. 派遣・嘱託・契約・非常勤等の従業員で短時間勤務
6. 在宅勤務・テレワーク
7. 起業（自分で事業をはじめたい）
8. 自営業の手伝い
9. その他（)

問 17 あなたは、これまで（現在を含む）働き続けたいけれど、働くことができなかったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. はい → 問 18 へ
2. いいえ → 問 19 へ

問 18 問 17で「1.はい」と回答した方にお聞きします。

働き続けたいけれど、働くことができなかった理由は何ですか。次の中から最もあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 就業や家事分担に対する配偶者やパートナー、家族の理解が得られなかったから
2. 育児に対する配偶者やパートナー、家族の理解が得られなかったから
3. 育児で預けられる施設（託児所や保育園）等のサービスが不十分だったから
4. 家族の介護や看護の必要があったから
5. 配偶者やパートナーが家事・育児・介護等を分担できないから（長時間労働、単身赴任等）
6. 就業していた会社に、育児・介護等をしながら仕事をする事への支援制度がなかったから
7. 結婚・妊娠・出産した人や介護を抱える人は、会社を辞めざるを得ない雰囲気だったから
8. 健康上の理由（病気・けがのため）
9. 会社の倒産やリストラ、定年
10. その他（)

問 19 女性が離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。次の中から最も重要だと思うものを3つまで選んでください。

1. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 働き続けることへの女性自身の意識改革
6. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
7. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
8. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
9. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
10. その他（)
11. わからない

子どもの教育について

問 20 あなたは、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という育て方についてどう思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1. 男の子、女の子と区別せず、同じように育てた方がよい
2. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てた方がよい
3. どちらともいえない

問 21 あなたは、子どもに対し、どのようなことを身につけてほしいと思いますか。

【男の子の場合】【女の子の場合】について、それぞれあてはまるものについて3つまで選んでください。男女同じ番号を選んでもかまいません。

【男の子の場合】

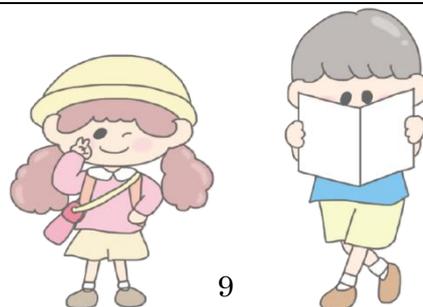
- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 社会性・積極性 | 2. 決断力・行動力 | 3. 教養・知性 |
| 4. 優しい・思いやり | 5. 豊かな感性 | 6. 礼儀・道徳心 |
| 7. 自立心・独立心 | 8. 経済力 | 9. 明るさ・素直さ |
| 10. 国際感覚 | 11. 責任感 | 12. 学歴 |

【女の子の場合】

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 社会性・積極性 | 2. 決断力・行動力 | 3. 教養・知性 |
| 4. 優しい・思いやり | 5. 豊かな感性 | 6. 礼儀・道徳心 |
| 7. 自立心・独立心 | 8. 経済力 | 9. 明るさ・素直さ |
| 10. 国際感覚 | 11. 責任感 | 12. 学歴 |

問 22 あなたは、男女がお互いを尊重しあえる子どもを育てるために、学校教育の場で力をいれることは何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 生活指導や進路指導で配慮する（男女の区別なく、個性や能力重視の指導）
2. 関連授業を充実させる（人権尊重、自尊意識、男女のコミュニケーション等の授業）
3. 性別による固定的な習慣をなくす（出席簿の順番、持ち物の色、役職の長と副等）
4. 男の子・女の子とも家庭学習の拡大を図る（家事、子育て、介護等の学習）
5. 性について学び、尊重する意識を高める
6. 教員や保護者の研修を進める（男女平等、人権等の研修）
7. 家庭及び地域社会との連携を密にする
8. その他（具体的に： _____)



人権意識について

問23 あなたは、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント※について、次のような経験はありますか。「セクシュアル・ハラスメント」「パワー・ハラスメント」のそれぞれについて、次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

項 目	セクシュアル・ ハラスメント	パワー・ ハラスメント
A 自分が直接被害を受けたことがある	1	2
B 知り合いの女性が被害を受けていた	1	2
C 知り合いの男性が被害を受けていた	1	2
D 自分も含め周りでは被害を受けた人はいない	1	2
E わからない	1	2

※ セクシュアル・ハラスメントとは

性的嫌がらせ。男女を問わず、相手の意に反する性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布等、様々な様態のものが含まれます。

※ パワー・ハラスメントとは

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為をいいます。

問 24 これまで結婚したことのある方（婚姻届けを出していない事実婚や別居中の夫婦も含む。）や交際相手がいる（いた）方にお聞きします。

あなたは、これまで配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。A～Dのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んでください。

項 目	な い ま っ た く	あ っ た 1 、 2 度	あ っ た 何 度 も	無 回 答
A 身体的暴力（例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行）	1	2	3	4
B 心理的攻撃（例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの心理的嫌がらせ、あるいは自分もしくは自分の家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫）	1	2	3	4
C 経済的圧迫（例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど）	1	2	3	4
D 性的強要（例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど）	1	2	3	4

問 25 問 24で「2 1、2度あった」「3 何度もあった」と回答した方にお聞きします。

あなたは、配偶者や交際相手から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 配偶者暴力相談センター（愛知県女性相談センターなど）に相談した 2. 市区役所、町役場に相談した 3. 警察に連絡・相談した 4. 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間支援団体など）に相談した 5. 医療関係者（医師、看護師など）に相談した 6. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した 7. 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚、部下、取引先など）に相談した 8. 家族や親戚に相談した 9. 知人・友人に相談した 10. その他（具体的に |) |
|--|---|

- | |
|-----------------------------|
| 11. どこ（誰）にも相談しなかった → 問 26 へ |
|-----------------------------|

問26 問25で「11.どこ（誰）にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。

相談しなかったのはなぜですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談するほどのことではないと思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 自分にも悪いところがあると思ったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や性的な画像のばらまきなど）
10. 世間体が悪いと思ったから
11. 他人を巻き込みたくなかったから
12. 他人に知られると、これまでの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
13. 自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから
14. 相手の行為は愛情表現だと思ったから
15. 別れるつもりがなかったから
16. その他（具体的に _____）
17. 無回答

問27 男女共同参画社会を実現するために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から最もあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 法律・制度の面で見直しを行う
2. 行政などにおける政策決定の場に、女性を積極的に登用する
3. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用がすすむよう支援する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底が図られるよう企業等に働きかける
5. 子育てや介護中の人であっても仕事が続けられるよう支援する
6. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
7. 保育の施設・保育サービス、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する
8. 学校や生涯学習などの場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
9. 女性や男性の生き方に関する情報提供や相談などの場を充実する
10. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
11. その他（具体的に _____）
12. 無回答

問28 あなたは、次の言葉を知っていますか。(1)～(6)の項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

項 目	よく知っている	少し知っている	聞いたことはある	知らない
(1) 男女共同参画	1	2	3	4
(2) ポジティブ・アクション	1	2	3	4
(3) ジェンダー	1	2	3	4
(4) 女性活躍推進法	1	2	3	4
(5) ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	4
(6) DV	1	2	3	4
(7) LGBT	1	2	3	4

【用語の説明】

男女共同参画

男女が社会を構成する対等なパートナーとして、政治や仕事、家庭などあらゆる分野に参画し、喜びも責任もともに分かちあうことを言います。

ポジティブ・アクション

固定的な性別による男女の役割分担意識や過去の経緯から、男女の労働者の間に差が生じている場合、このような差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みをいいます。

ジェンダー

生物学的な性別ではなく、「女らしさ、男らしさ」など文化的、社会的につくられた性別をさします。

女性活躍推進法

女性活躍推進法により、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等）に義務付けられました。

ワーク・ライフ・バランス

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域などにおいて、自らが希望するバランスのとれた生活を送ることを指します。

DV

ドメスティック・バイオレンスの略称。配偶者やパートナーなど親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力のことをいいます。

LGBT

レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をとった言葉で、セクシャル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。

あなたのことについて伺います。

次の項目について、それぞれ1つを選んでください。

F1 あなたの性別は

- | | | |
|-------|-------|-------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない・どちらでもない |
|-------|-------|-------------------|

F2 あなたの年齢は

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70歳以上 | |

F3 あなたの主なお仕事について伺います。出産休暇、育児休業中の方も働いているものとしてください。

自営業主	自営業の 家族従業者	雇用者	無職
1. 農林漁業 2. 商工サービス業 3. 自由業（作家等）	4. 農林漁業 5. 商工サービス業 6. 自由業	7. 管理職 8. 専門技術職 9. 事務職 10. 労務職	11. 主婦 12. 学生 13. その他

雇用者の方は、雇用形態もご記入ください。
1. 常勤（フルタイム）
2. 非常勤（パート、アルバイト）

F4 あなたは結婚していますか。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚 | 3. 離婚・死別 |
|-------|-------|----------|

F5 F4で「2. 既婚」と回答した方にお聞きします。

あなたの配偶者の雇用形態は

- | | | | |
|---------|--------------|--------|-------|
| 1. 自営業主 | 2. 自営業の家族従事者 | 3. 雇用者 | 4. 無職 |
|---------|--------------|--------|-------|

雇用者の方は、雇用形態もご記入ください。
1. 常勤（フルタイム）
2. 非常勤（パート、アルバイト）

